

## 第3回 日本ユング心理学会（JAJP）研修会のご案内

主催：日本ユング心理学会

日時：2016年9月11日（日）12：15-17：00

会場：京都アスニー（京都市中京区聚楽廻松下町9の2）

ご挨拶

すでにご承知の通り、当学会では、2012年4月の設立と同時に「認定心理療法士」資格の認定を開始し、以降、すでに47名の方がこの資格を取得されました。

この資格の創設は、それぞれの学会が認定する専門資格の役割が今後増すであろうという予測のもとで、ユング心理学に基づく心理療法家の育成・認定を目指すものです。またユング派分析家資格の要件のほぼ半分にあたるもので、手の届きやすい資格であると同時に、将来の分析家資格取得にもつながるものです。

一昨年度、昨年度に引き続き、本学会資格研修委員会では、会員の方々の参加を優先させつつ、心理臨床を実践しておられる方々にも広く門戸を開き、臨床の質を高めていくための研修機会を提供することを目的とし、第3回日本ユング心理学会研修会を企画いたしました。

内容といたしましては、本学会認定心理療法士資格をもつ講師による、理論と技法、双方の面でユング心理学の「基礎」を学ぶ分科会と、特定のテーマを設定した「事例検討」の分科会となっております。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2016年7月吉日

日本ユング心理学会  
資格研修委員長 河合 俊雄

<開催要領>

1. 定員：180名

2. 参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

3. 参加費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円

4. 研修内容：以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

セッションⅠ（12：15-14：30）/セッションⅡ（14：45-17：00）

(1) セッション I (12:15-14:30)

● 〈事例検討1〉 河合 俊雄(京都大学こころの未来研究センター)

「語りの中の夢」

心理療法において、特に夢分析という形式をとってなくても、夢が報告されることがある。すると夢によって、通常の語りでは見えてこなかったクライアントの問題の深層や、語りではわからなかった治療の展開が明らかになることがある。いくつかの夢の報告が含まれている事例を検討してみたい。

※この分科会では、参加者からの事例発表を募ります。ご希望の方は、参加申込書に100字程度の事例の概要をご記入ください。

● 〈事例検討2〉 豊田 園子(豊田分析プラクシス)

「母をめぐる」

心理臨床の場では、母親のことについて考えさせられることは多いと思います。母自身が自分自身の問題で来られる場合もあれば、子どものことで来られる、いわゆる母親面接も少なくないでしょうし、娘や息子の側が面接の中で母親との葛藤を多く語る場合もあるでしょう。もちろんセラピスト自身も母をめぐるさまざまな思いがあると思います。誰もが無関係ではいられない母というものについて考える機会になればと思います。

※この分科会では、参加者からの事例発表を募ります。ご希望の方は、参加申込書に100字程度の事例の概要をご記入ください。

母というものを考えさせるものならどんな事例でも結構です。

● 〈基礎1〉 山口 素子(山口分析プラクシス)

「Two Essays on Analytical Psychology」

ユング心理学を学ぶ時、また分析家取得のための中間試験を受ける時、まず押さえておかなければならない文献が 'Two Essays on Analytical Psychology(CW7)' である。

今回はこの二つのエッセイを解説し、ユング心理学の基礎中の基礎を押さえることを目的とする。『自我と無意識』(レグルス文庫)、『無意識の心理』(人文書院)に翻訳されているので、できるだけ目を通してほしい。

(2) セッション II (14:45-17:00)

● 〈事例検討3〉 田中 康裕(京都大学大学院)

「大人の発達障害の見立てと心理療法」

発達障害という概念が一般的になるに従い、発達障害という診断や見立てを目にすることが多くなる一方で、いわゆる過剰診断もまま見られるようになった。この分科会では、「大人の発達障害」にテーマを絞り、事例検討を行う。夢、箱庭、描画等の特徴だけでなく、「事例の概要」のどの部分から、面接場面でのクライアントの語りや所作のどんな特徴から、セラピストは「発達障害っぽさ(ASD feeling)」を感知し、「発達障

害」か否かを見立てていけばいいのか、さらに、その見立てをどうセラピーにつなげてゆけばいいかを具体的に考えたい。

※この分科会では、参加者から、「大人の発達障害」を疑われる事例発表を募ります。ご希望の方は、参加申込書に100字程度の事例の概要をご記入ください。

#### ●〈事例検討4〉北口 雄一(北口分析プラクシス)

「面接において聞くことと、話すこと」

ユング心理学では、河合隼雄が聞くことの重要性を論じたのを始め、「聞く」がどのような意味を持ちうるかに目を向けてきた。一方で「聞く」は、何もしていないことの象徴と批判の対象にもなってきた。実際に、治療者の「話す」がなければ、心に響かないことが多々あるのも確かである。心理療法で自分が何をしているのか分からない、と不安をもつ方が多いからこそ、聞くのか vs 話すのか、ではなく、クライアントの心の水準によって「聞く」と「話す」が、どういう意味をもつのかを振り返りたい。

※この分科会では、参加者から、神経症あるいはパーソナリティ障害の水準と思われる、事例の提供をしてくださる方を募集します。ご希望の方は、参加申込書に100字程度の事例の概要をご記入ください。

#### ●〈基礎2〉川戸 圓(川戸分析プラクシス)

「Dr. フォン・フランツの語る分析心理学」

この分科会では、Dr.フォン・フランツへのインタビューのフィルムを見ながら分析心理学を振り返り、再考する。Dr.フォン・フランツはユングの高弟であり、ユングが後半の思想形成をするにあたって、なくてはならない存在者であった。ポーリンゲンのタワーの近くに、ユングのように、隠遁する場所を築いた彼女の人生を振り返りながら、夢の解釈、創造性、共時性、錬金術等についての彼女の明確な語りに耳を傾ける。そして、それについて参加者の皆さんとの対話の時を楽しみたい。ちなみにフィルム(DVD)はドイツ語であるが、英語に切り換えてあるので、時に日本語訳もしながら進めて行く。字幕の英語はとても簡潔なもので、どうぞ英語を恐れずに参加して下さい。

※ 各分科会の会場につきましては、当日受付にてご案内いたします。

### 5. 参加お申込みについて

お申込みの方は、件名を「第3回日本ユング心理学会研修会申込」として、以下の内容を明記の上、eメールにてお申込みください。

**\* 記入事項 :**

1) 参加ご希望の分科会(セッション I・IIとも、必ず第2希望までご記入ください)

2) 参加されるご本人の氏名・ご連絡先等

A) **非会員の方:** ①氏名②ふりがな③住所④返信用のメールアドレス⑤所属/専攻

\*臨床心理士の方は、臨床心理士番号もお書き添えください。

B) **会員の方**：①氏名②住所③返信用のメールアドレス④所属/専攻

\*宛先：日本ユング心理学会(JAJP)事務局

e-mail：[office@jajp-jung.info](mailto:office@jajp-jung.info)

\*申込締め切り：2016年8月22(月) **8月31日(水)**

- ・お申込み受付は、原則として先着順とさせていただきます。
- ・事例検討の分科会は、日本ユング心理学会会員を優先して受付いたします。
- ・希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もありますので、予めご了承ください。
- ・本研修会への参加は、日本臨床心理士資格認定協会に研修機会として申請する予定です。

## 6. 参加の可否について

お申込み受付後、ご記入いただいたメールアドレスに通知を差し上げます。

\*通知は申込締め切り後の8月下旬になる予定です。

参加証等は、事前に発送いたしません。

申込者本人のみ、ご参加可能です。

## 7. 参加費のお振り込みについて

参加費につきましては、2016年8月26日(金) **9月2日(金)**までに、下記口座へお振り込みください。

**振込先：三井住友銀行 備後町(びんごまち)支店 普通 1795872 日本ユング心理学会**

- ・振込掲載書は領収証代わりになりますので、必ず保管し、当日ご持参ください。
- ・お振り込みは、必ず本人のお名前をお願いします(異なる場合は、事前にご連絡ください)。
- ・納入された参加費は返金できませんので、予めご了承ください。

## 8. 研修会に関するお問合せ先

日本ユング心理学会 (JAJP) 事務局

住所：〒604-8126 京都市中京区高倉通蛸薬師下る貝屋町 558 澤田ビル 2F 201 号

Fax：075-320-2022

e-mail：[office@jajp-jung.info](mailto:office@jajp-jung.info)

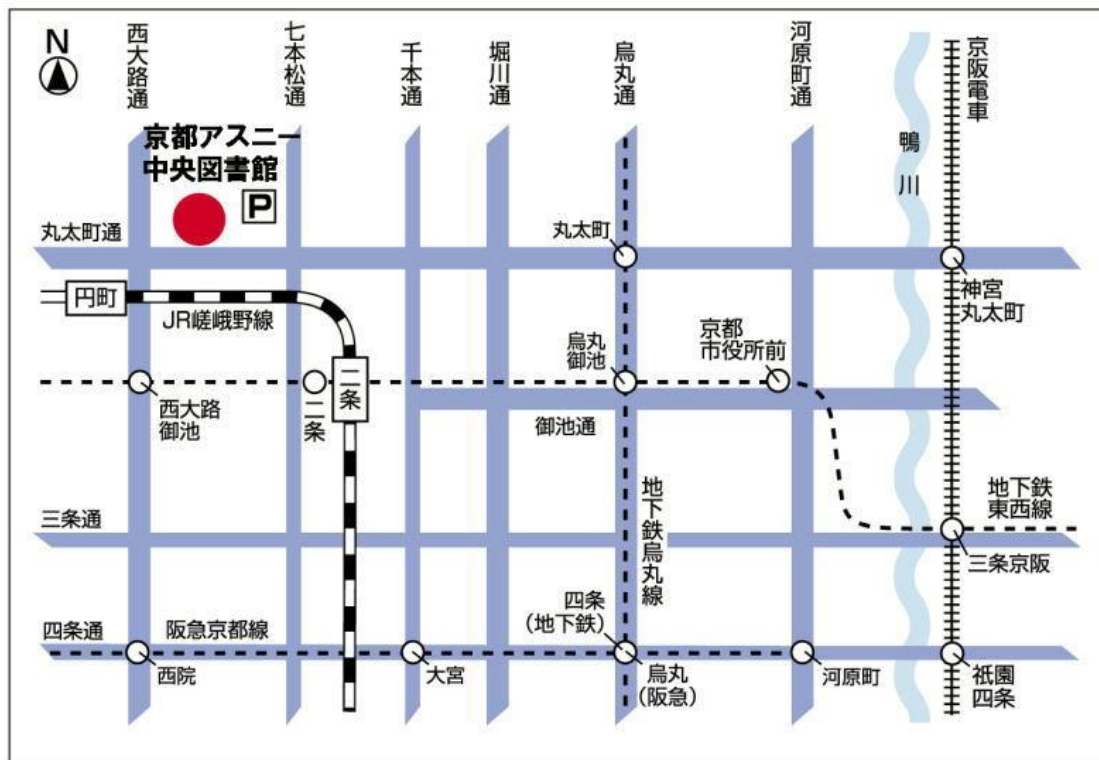
## 9. 会場案内

京都アスニー

住所：京都市中京区聚楽廻松下町 9 の 2

TEL：075-802-3141

URL：<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asny1/top.html>



- JR・近鉄京都駅から
  - 市バス 206/約 22 分→千本丸太町下車 西へ徒歩 400m
  - JR バス/約 20 分→丸太町七本松下車
- JR・地下鉄二条駅から
  - 市バス 15/約 5 分→丸太町七本松下車
  - 京都バス 61・62・63・65/約 5 分→丸太町七本松下車
  - JR バス/約 5 分→丸太町七本松下車
- 阪急大宮駅から
  - 市バス 6・46・55・201・206/約 8 分→千本丸太町下車 西へ徒歩 400m
  - JR バス/約 10 分→丸太町七本松下車
- 阪急西院駅から
  - 市バス 202/約 10 分→丸太町七本松下車
- 地下鉄丸太町駅から
  - 市バス 93・202・204/約 10 分→丸太町七本松下車
- 京阪三条駅から
  - 市バス 15/約 20 分→丸太町七本松下車
  - 京都バス 61・62・63・65/約 20 分→丸太町七本松下車
- 京阪神宮丸太町駅から
  - 市バス 93・202・204/約 15 分→丸太町七本松下車
- JR 丸太町駅から
  - 市バス 15・93・202・204/約 3 分→丸太町七本松下車
  - 京都バス 61・62・63・65/約 3 分→丸太町七本松下車
  - JR バス/約 3 分→丸太町七本松下車
- 駐車場 施設利用者 30 分までごとに 100 円
  - (※ 1 階事務所に駐車券をご持参のうえ、館内利用手続きを行ってください)